



子どもを 交通事故から守る



子どもの特性

- ★ その時々で気分が行動が変わる。
- ★ ひとつのことに夢中になると、まわりのものが目に入らなくなる。
- ★ 「あぶないよ」などの抽象的な言葉では理解できないので、具体的に教える。
- ★ 幼児の視野は狭く、視点が低いので、見えないものがある。
- ★ 動くものや珍しいものに興味を示しやすい。
- ★ 物陰で遊ぶ傾向がある。
- ★ 大人のまねをする。



子どもの 交通事故の特徴

- ★ 「飛出し」と「車の直前や直後からの横断」による交通事故が多い。
- ★ 昼過ぎから夕方間に、自宅近くで交通事故に遭うことが多い。
- ★ 通学途中の交通事故では「行き」より「帰り」の方が多し。
- ★ 信号や横断歩道のない場所での交通事故が多い。
- ★ 裏通りでの交通事故が多い。

保護者の みなさまへ

- ★ 動きやすく、明るい色の服を着用させる。
- ★ 一緒に歩くときは、手をしっかりとつなぎ、大人が車道側を歩く。
- ★ 雨の日は、傘よりレインコートを着用させる。
- ★ 「車はすぐには止まらない。」「ぶつかるとケガをする。」など車についての基本的なことや、道路標識の意味などを教える。
- ★ 通学路や出掛けるときに、よく通る道路と一緒に歩いて、その場で具体的に指導する。

